

中央会 おかやま

未来へつなぐ連携・挑戦・感動!
組合活性化情報
岡山県中央会 web site <https://www.okachu.or.jp>
E-mail chuokai@okachu.or.jp



2025
12
December Vol.770

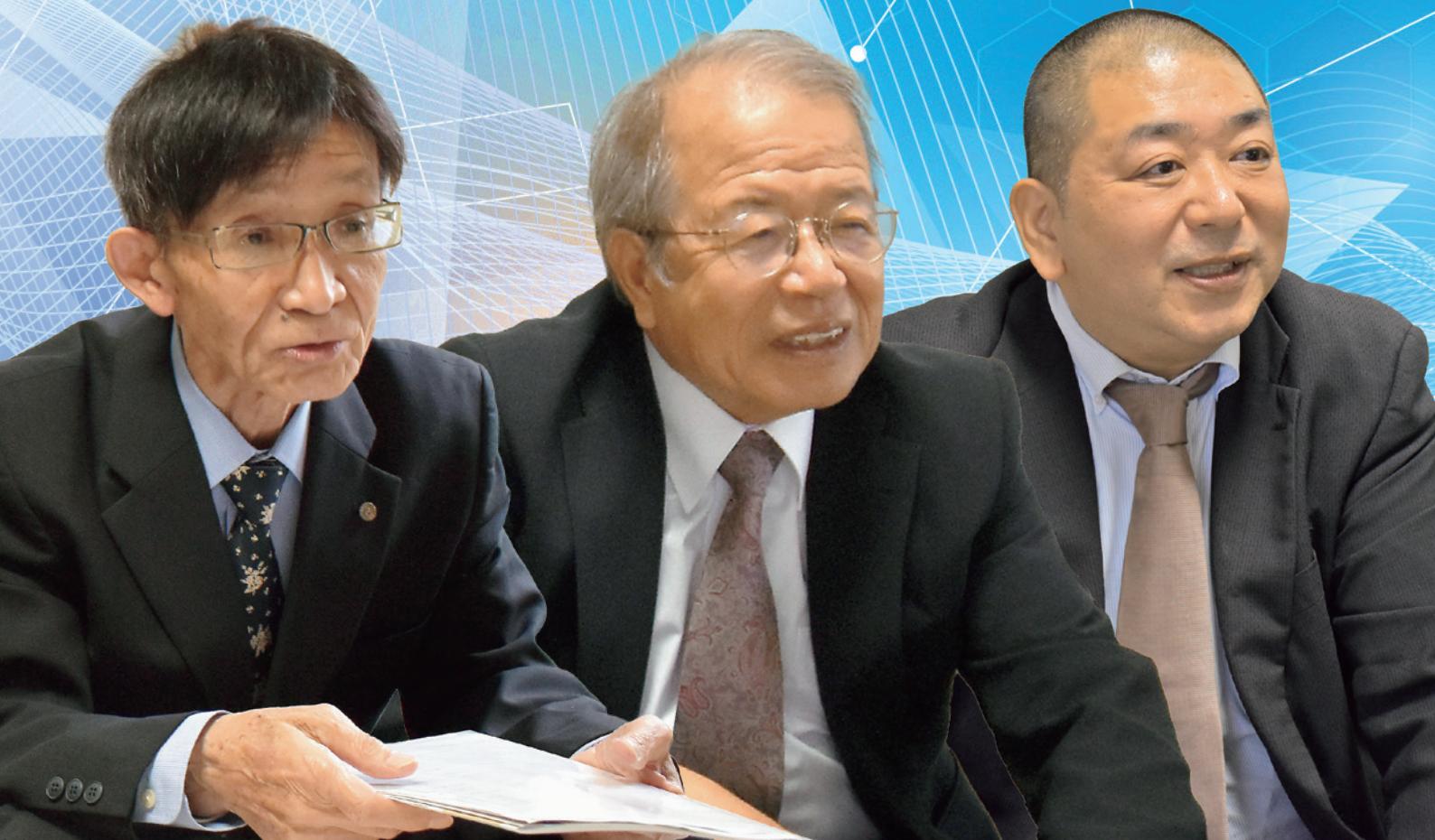
INDEX

- Leader's「i」岡山労災福祉事業協同組合……2～3p
中央会の取組紹介ほか……4～9p
がんばる組合の紹介……9～11p
- 情報連絡員レポート……12～14p
インフォメーション……15p

特集
Leader's リーダーズ「アイ」

岡山労災福祉
事業協同組合

中小企業の「安心」を支える
ワンストップ・パートナーで
あり続けます。



理事
間野 耕一郎 氏

代表理事
荒木 廣行 氏

理事
田中 弘一郎 氏

リーダーズ「アイ」

岡山労災福祉事業協同組合
代表理事

荒木 廣行 氏

理事 間野 耕一郎 氏

理事 兼岡山労災福祉事業一人親方組合
会長 田中 弘一郎 氏

理事 田中 弘一郎 氏

中小企業の「安心」を支える ワンストップ・パートナーであり続けます。

【組合の概要について教えてください】

荒木理事長：岡山労災福祉事業協同組合は、昭和45年に労働大臣から労働保険事務組合の認可を受けた任意組合を前身とし、社会保険・労務士制度創設時に第1期登録をされた太田弘輝先生が昭和47年に設立しました。以来、半世紀以上にわたり、一貫して中小企業の労働保険事務を代行し、労働福祉の向上と組合員の繁栄に寄与してきた伝統ある組織です。

労働保険は、労働者災害補償保険（労災保険）と雇用保険を総称した名称です。農林水産の事業の一部を除き、パート・アルバイトを含めた労働者を一人でも雇用する事業主には加入が義務付けられており、毎年4月1日から7月10日までに保険料の申告・納付（年度更新）が必要です。こうした諸手続きの委託を受けることが主な業務です。

【労働保険事務組合に労働保険事務処理を委託するメリットについて教えてください】

間野理事：当組合のような労働保険事務組合に労働保険事務処理を委託する最大のメリットは、煩雑な年度更新手続きを事業主に代わって行う点に加え、労働保険料の額にかかわらず3回に分割して納付できる点です。労働保険事務組合に委託しない場合、概算保険料額が40万円未満の場合は原則として一括納付しなければなりません。

また、労災保険の対象範囲についても特有のメリットがあります。本来労災保険の対象は労働者に限りますが、労働

保険事務組合に委託する」として、中小事業主やその家族従事者も労災保険に「特別加入」をすることになります。例えば、業務中に車を運転する事業主の配偶者等にとって、特別加入は業務上の重大なリスクに対する備えとなります。

さらに、多くの労働保険事務組合には社会保険労務士が在籍しているせんが、当組合は社会保険労務士が窓口となり、社会保険（健康保険・厚生年金）の手続きまで一括して依頼できることが大きな特徴です。このワンストップ体制ですが、多忙な経営者にとって大きなメリットとなります。現在、この伝統は三代目となる荒木理事長に承継され、中小企業の皆様が本業に集中できるよう、より複雑化する労働・社会保険に関するワンストップサービスを提供しています。

【労災発生時の「初動対応」と「認定支援」について教えてください】

荒木理事長：労災事故が発生した際、事業主が最も不安に感じるのが「労災認定されるか」「手続きが煩雑ではないか」という点です。当組合のウリは、この労災発生後の具体的なサポートまでを一貫して行うことです。

事故発生後、まず組合にご連絡いただくことで、申請書類の送付から、怪我の状況や原因の聞き取り、申請書の必要事項記入の支援まで、組合が代行・サポートします。多くの事業主が「労災を使うと労働基準監督署からペナルティがある」と誤解していますが、よほど危険な環境や極端な長時間労働がない限りペナルティはありません。適切



理事 間野 耕一郎 氏

代表理事 荒木 廣行 氏

理事 田中 弘一郎 氏

通勤災害(通勤中の事故)

該当するケース	該当しないケース
通勤中にバス車内でバランスを崩し転倒した場合。	帰宅途中で居酒屋に立ち寄るなど、日常生活上必要な行為とは認められない私的な目的で経路を大きく外れた場合。
自家用車で通勤中に事故に遭った場合。	

通勤途中や退勤途中の事故は原則対象となります。経路の逸脱や中断があった場合は該当しないことがあります。



労務管理や企業経営でお悩みの際は、是非当組合へお電話ください。専門家との連携体制により、迅速かつ適切な解決策をご提案いたします。

業務災害(仕事中の事故)

該当するケース	該当しないケース
事務所内で、机につまずき転倒し負傷 (事業所内に存在する危険が原因)	靴を履くときに、持病の腰痛が悪化 (業務との因果関係が薄い場合。ただし業務による疲労の蓄積が原因であれば認定され得る)
調理中に油をこぼし、やけど (業務行為に起因した負傷)	業務外の要因による脳卒中や心臓疾患 (長時間労働など業務による過重負荷がなければ労災ではない)
駐車場から車を出す際、走行中の車両と衝突 (業務中、事業所の管理下での事故)	休憩時間中に私的な行為で負傷 (完全に業務から離れている場合)

田中理事：労災認定の基本は「職務遂行性（仕事中に起こったか）」と「業務起因性（業務が原因か）」の二つの要件です。当組合に寄せられる相談事例から、労災に該当するケースと該当しないケースをご紹介します。

よくある労災事例と認定の判断基準

田中理事：労災認定の基本は「職務遂行性（仕事中に起こったか）」と「業務起因性（業務が原因か）」の二つの要件です。当組合に寄せられる相談事例から、労災に該当するケースと該当しないケースをご紹介します。

な手続きを行つことで、従業員は医療費の自己負担がゼロとなります。労災認定の最終判断は労働基準監督署が行いますが、当組合では、交渉や複雑な事例への対応を、原則として追加費用なしで社会保険労務士が支援します。

労災認定は個別具体的な状況で判断されるため、まずは専門家である当組合にご相談いただくことが、スムーズな給付につながる鍵となります。

最後に、組合が現在取り組んでいることや体制について教えてください。

間野理事：当組合は、国が定める労災保険の給付をさりに手厚くする「労保連労働災害保険」（上乗せ労災）への任意加入も取り扱っています。これは政府労災保険の上乗せ補償として厚生労働大臣の認可を得ておらず、休業や死亡・障害の際に給付を上乗せすることで、従業員とその家族への補償をより充実させることができます。特に建設業の事業者においては、公共工事入札時の経営事項審査で加点されるメリットもあります。

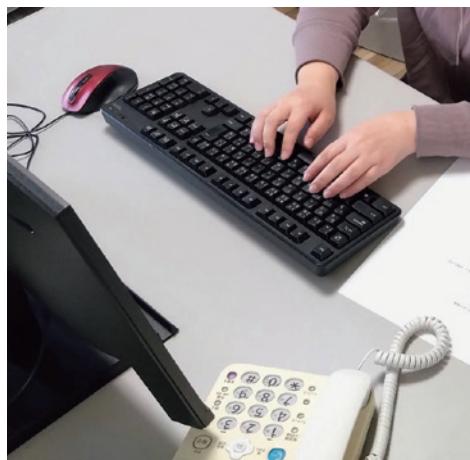
田中理事：また、協同組合では労災保険の加入対象としてカバーできない範囲に対応するため、令和3年に建設業の一人親方を対象とした「岡山労災福祉事業一人親方組合」を立ち上げ、私が会長を務めています。さらに、全国的な動きとして令和7年12月を中途にフリーランスを対象とした特別加入団体設立が進められており、新分野の労働者を守る体制の整備にも期待が寄せられています。

荒木理事長：当組合の目標は、組合員様の経営の安定と発展を支援することです。労働・社会保険にとどまりず、中小企業診断士、行政書士、司法書士、税理士、不動産鑑定士などの専門家とも連携し、経営革新、事業承継など経営全般のお困りごとを解決する総合的な相談窓口の機能を果たしています。



組合名：岡山労災福祉事業協同組合
設立：1972年8月
所在地：岡山市北区京山2丁目2-27
TEL：086-250-2615
従業員数：2名
組合員数：55名
社労士数：8名

組合プロフィール



ワンストップで労務・経営の相談に対応します



相談風景

令和7年度 中小企業労働事情実態調査まとまる

岡山県中央会では、中小企業の労働事情を的確に把握し、適正な労働対策を推進することを目的に、県内の中小企業を対象に一斉調査を実施し、回答を得た226事業所の調査結果をまとめました。今回は、従業員の賃上げや価格転嫁等をクローズアップし、一部の調査結果を掲載します。

1 経営状況及び経営上の障害

経営状況については、全体では、「良い」20.4%（昨年18.6%）、「変わらない」51.3%（昨年53.8%）、「悪い」28.3%（昨年27.5%）となっており、昨年と比較して「良い」と回答した企業、「悪い」と回答した事業所とも若干増加している。賃上げや価格転嫁問題など様々な経営課題が生じており、経営の舵取りがポイントとなっている。

本調査で、企業の経営上で抱える問題点や、経営上の障害は何かについて3項目の選択制で調査したところ、「人材不足(質の不足)」57.5%（昨年55.1%）が最も高く、5割以上を占める結果となった。

昨年より2ポイント以上増えた項目は、「人材不足(質の不足)」と、「労働力不足(量の不足)」39.8%（昨年36.0%）で、労働人材面の障害をあげるところが増加し、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」は49.1%（昨年55.9%）で引き続き高いものの昨年より低下している。

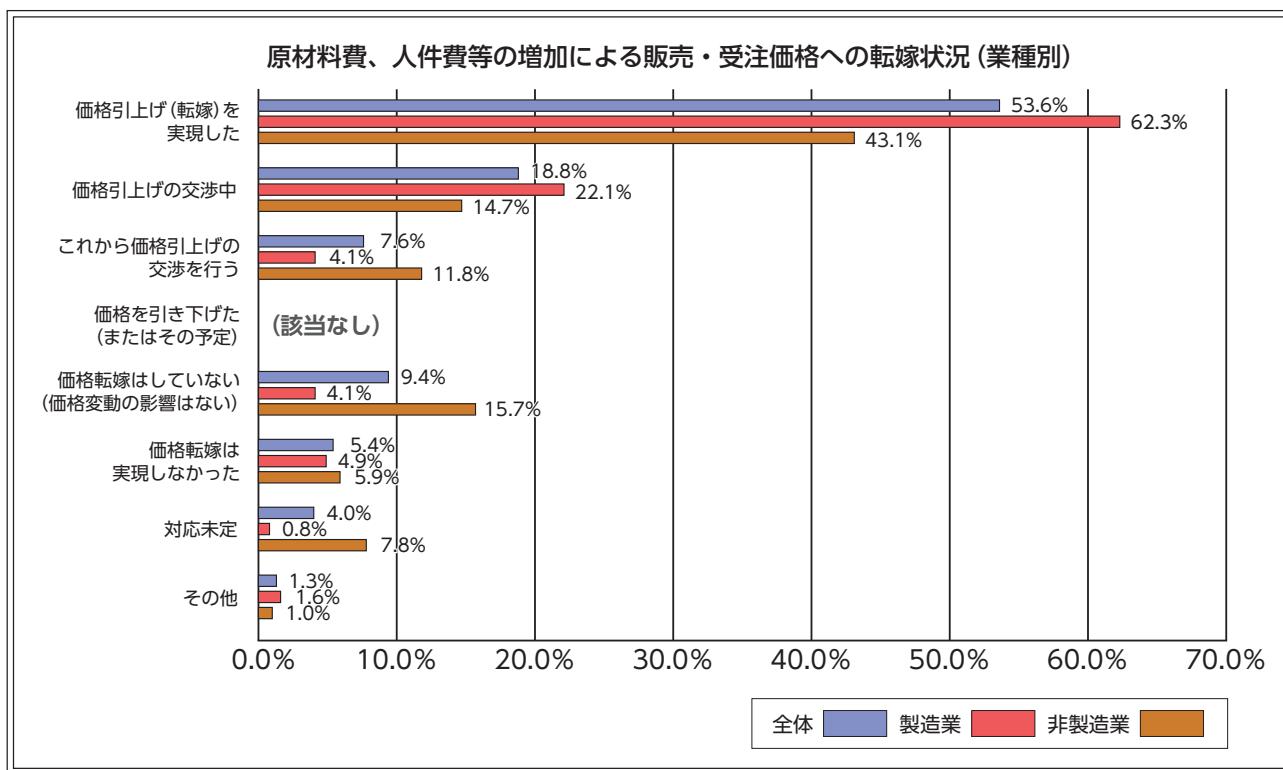
2 価格転嫁の取組状況

原材料費、人件費等の増加による販売・受注価格への転嫁状況については、全体では、「価格の引上げ(転嫁)を実現した」53.6%（昨年50.6%）が最も高く、ついで「価格引上げの交渉中」18.8%（昨年18.0%）、「価格転嫁はしていない(価格変動の影響はない)」9.4%（昨年6.9%）となっており、幾分転嫁をした事業者の割合が増加、7割程度の企業は価格転嫁の取り組みを行っている。

「価格の引上げ(転嫁)を実現した」と回答した事業者の割合を規模別にみると、従業員100～300人規模では、令和5年55.9%、令和6年57.7%、令和7年70.8%と伸びているのに対して、従業員10～29人規模ではこの間50～60%前後で足踏み、1～9人規模では40%台で足踏みと、割合の低さと伸びていない状況がみてとれる。

業種別では、製造業は「価格の引上げ(転嫁)を実現した」62.3%が最も高く、ついで「価格引上げの交渉中」22.1%、「価格転嫁は実現しなかった」4.9%となっており、多くの企業が価格転嫁に対応している。

一方、非製造業は「価格の引上げ(転嫁)を実現した」43.1%が最も高く、ついで「価格転嫁はしていない(価格変動の影響はない)」15.7%、「価格引上げの交渉中」14.7%となっており、消費者ターゲットの多い非製造業については、価格転嫁が製造業と比較して遅れている状況にある。



3 価格転嫁の転嫁率など

「価格の引上げ(転嫁)を実現した」と回答した企業のうち、1年前からのコスト上昇の何パーセントを販売価格に反映できたかの価格転嫁率では、全体、業種別でも10%未満の回答が最も高くなっています。区別でも原材料分、人件費分とも同様に10%未満の転嫁率が高くなるなど、転嫁を実施しても転嫁率は低いとする事業者が多く、価格転嫁が難しい現状が見て取れる。

転嫁率50%～100%以上と回答した事業者を規模別にみると、従業員100～300人規模で、令和5年26.4%、令和6年28.5%、令和7年40.0%と伸びているのに対し、10～29人規模では6.5%、25.0%、28.9%と伸びに遅れがみられる。

価格転嫁した事業者の転嫁率（業種別）

	10%未満	10～30%未満	30～50%未満	50～70%未満	70～100%未満	100%以上
全体	38.3%	23.5%	6.1%	10.4%	20.0%	1.7%
製造業	37.3%	24.0%	5.3%	9.3%	21.3%	2.7%
非製造業	40.0%	22.5%	7.5%	12.5%	17.5%	-

4 賃金改定について

(1) 定期昇給・ベースアップの有無と賃金改定の内容

令和7年1月1日から令和7年7月1日までの間の定期昇給、ベースアップ実施について確認したところ、「引き上げた」が68.2%（昨年71.4%）となった。「7月以降引き上げる予定」とあわせると83.9%（昨年85.7%）となり、昨年に比べて減少しており、価格転嫁による人件費捻出が課題となっていると推察される。

一方、賃金改定の内容をみると、次の表のとおりである。

また、定期昇給、ベースアップを実施した事業所の平均昇給率は、単純平均で3.90%（昨年3.77%）、加重平均で3.80%（昨年3.94%）となっている。

賃金改定の内容（業種別）

	定期昇給	ベースアップ	基本給の引上げ (定期昇給制度の ない事業所)	諸手当の改定	臨時給与(夏季・ 年末賞与などの 引上げ)
全体	66.3%	33.1%	25.4%	12.7%	11.0%
製造業	68.9%	34.9%	24.5%	12.3%	11.3%
非製造業	62.7%	30.7%	26.7%	13.3%	10.7%

(2) 賃金改定の決定要素

全体では、「労働力の確保・定着」65.2%（昨年63.0%）が最も高く、ついで「企業の業績」56.4%（昨年55.8%）、「世間相場」48.1%（昨年42.8%）となっている。

業種別では、製造業は「労働力の確保・定着」74.0%が最も高く、ついで「企業の業績」58.7%、「世間相場」51.0%となっている。

非製造業では、「企業の業績」・「労働力の確保・定着」が共に53.2%と最も高く、ついで「世間相場」44.2%となっており、各業種とも人手不足問題を内包している。

本号で掲載した内容は、労働事情実態調査の一部を掲載したものです。このほか、従業員の労働時間や有給休暇、採用問題なども集計しております。調査結果の詳細は当会ホームページに掲載予定です。調査結果等は企業人材支援課（TEL：086-224-2245）までお問合せ下さい。

広島で第77回中小企業団体 全国大会が開催

去る令和7年11月12日、全国中央会・広島県中央会の主催による第77回中小企業団体全国大会が、広島県立総合体育館（広島市中区）にて開催されました。当団は、全国から組合関係者約2,100名が参加、隣県での開催であり、岡山県からは藤木会長ほか43名が参加しました。

大会では、物価高、人手不足など中小企業を取り巻く厳しい環境を乗り越えるため、経営環境変化への対応や、成長促進に向けた支援策の拡充等の要望事項を決議し、国に対し中小企業政策の一層の強化を求めました。

また、優良組合、組合功労者等の表彰も行われ、岡山県からは次の2名が組合功労者表彰されました。

組合功労者表彰（順不同）

- ・藤木 達夫氏
(丸五技術開発協同組合)
- ・淵本 敏彦氏
(協同組合岡山鉄工センター)



大会に出席した岡山県参加者

最後に、次回となる第78回中小企業団体全国大会が、令和8年11月19日に熊本城ホール（熊本市中央区）で開催されることが発表され、大会旗が次期開催地へ引き継がれました。

大会後には、全国からの参加者を対象に、交流会（約1,100人参加）が開かれ、岡山県からの参加者も交流を深めました。

（組織支援課 藤田）

中央会おかやま 2025年12月号

6

岡山県ものづくり女性中央会

「レディース中央会全国 フォーラム in あいち」に参加

去る10月29日、愛知県名古屋市にて開催された「レディース中央会全国フォーラム in あいち」に、岡山県ものづくり女性中央会が参加しました。

基調講演では、藤田医科大学特命教授・大塚耕平氏による「愛知の歴史に学ぶ産業史」と題した講演が行われ、歴史を通じて産業や街の発展を読み解くストーリーが紹介されました。

続いて、約200名の参加者によるグループディスカッションが、「地域の特色ある産業や取組み（お国自慢）」をテーマに実施されました。

デイスカッショングやその後の交流懇親会を通じて、県外の女性経営者との新たな出会いが生まれ、岡山県と他地域それぞれの魅力を再認識する貴重な機会となりました。

翌日は、愛知中小企業家同友会女性部との交流会が開催され、株式会社マイ・ビジネスサービス代表取締役・村田千世子氏にご講話いただきました。講演では、予期せぬタイミ

ングでの事業承継や、それに伴う会社の変化、仕事と子育ての両立におけるご苦労など、村田氏の実体験に基づく貴重なお話が披露されました。

参加者のの中には、自身の経験や境

遇と重ね合わせて感極まる方もおり、女性経営者ならではの思いをメンバー同士で共有することで、互いの理解が深まり、より一層の結束を感じることができました。

岡山県ものづくり女性中央会では、今後も心理的な安心・安全の場として、メンバーがより共感し合える活動を継続してまいります。

（組織支援課 林）



新年祝賀懇親会

開催のご案内

岡山中金会と岡山県中央会の共催による恒例の新年祝賀懇親会を左記により開催します。

本懇親会では、ご来賓の方々から抱負や激励のお言葉を賜る予定です。皆様の多数のご出席をいりますようお願い申上げます。



画像は過去の開催時のものです

●日時
令和8年1月8日(木) 18時～19時30分

●場所
ANAクラウンプラザホテル岡山1階「曲水」

●会費

お一人 10,000円（会場で拝受）
事前の申込みが必要となりますので、参加をご希望の際は左記の申込フォームから入力ををお願いします。（既にお申込みをいただいている場合は不要です。）

●申込フォーム (12月11日締切)

●問い合わせ

岡山県中央会 総務企画課
TEL: (086) 224-2245



令和7年度 第3回役員会を開催

岡山県中央会

去る11月5日、当会令和7年度第3回役員会を開催いたしました。

役員会には代理出席を含む28名が出席。事業計画と収支予算の変更議案の説明と、上半期実績報告等を行い、いずれも了承されました。

上半期の事業進捗報告では、省力化投資補助の登録製品が増えていることや、新設された「岡山県女性活躍推進等就業環境整備支援事業補助金」が即刻で売り切れた状況などについて説明しました。

また、10月29日開催の「内外情勢調査会・倉敷支部合同懇談会」の報告がなされました。同会には藤木会長および佐古会長（岡山県ものづくり女性中央会）がパネラーとして出席して県知事らと意見交換しながら、若者・特に女性の県外流出傾向が増大する中で、就業環境の改善や魅力の向上策などの中小企業が取り組んでいる事例を参加者に伝えたとのことでした。

その他、今後の行政への要望予定として、自民党県議団への予算要望や、全国大会決議事項の国への要望活動見通しなどを説明しました。出席理事からは、省力化投資補助は有効なので、希望製品の登録をそれぞれから働きかけるべきといった意見などが寄せられました。

（総務企画課 島田）

自民党県議団へ中小企業対策等の令和8年度県予算計上を要望

県内の経済団体6団体は去る11月14日に、自由民主党岡山県議団へ令和8年度岡山県予算編成に関する陳情を行いました。当日は岡山県経済団体連絡協議会の中島基善座長の挨拶の後、各団体より陳情書について説明。陳情内容は賃上げ・物価上昇・米国関税などの影響を受ける企業の対策強化のほか、雇用対策、商業振興、災害対策など多岐にわたる内容となっています。

当会藤木会長からは、最低賃金のアップ率が高く、その影響が大きい業種や人手不足の厳しい業者に支援を届けて欲しいといった意見を伝えました。

県の令和8年度予算は、年明けから議会常任委員会での審議が本格化される予定です。

（事務局長 村上）



岡山県青年中央会 新年会の「」案内

岡山県青年中央会では、令和8年1月29日(木)にピュアリティまきび(岡山市)において新年会を開催いたします。当口は、(株)岡山リベッツ代表取締役 羽場 誠氏をお招きし、「岡山リベッツの挑戦(仮)」と題した講演会を実施いたしました。講演終了後には、県内若手経営者の皆さまと懇親を深める懇親会も企画しております。青年中央会会員の皆さまはをはじめ、各組合に所属する若手経営者や後継者候補の皆さまもぜひご参加ください。

●開催日時

令和8年1月29日(木)17時30分～20時45分
講演会…17時30分～19時15分
懇親会…19時15分～20時45分

●開催場所

ピュアリティまきび
(岡山市北区下石井2-6-41)

●募集対象

協同組合等の団体の青年部員、青年中央会個人会員、県内の若手経営者・後継者候補等

●講演会内容

講 師：株式会社岡山リベッツ
代表取締役社長 羽場 誠氏
テーマ：「岡山リベッツの挑戦(仮)」
懇親会費 一人あたり8,000円
(懇親会参加者のみ当日現金払い)

●参加申込フォーム

岡山県中央会 組織支援課 小郷
TEL：(086) 224-2245



若手経営者・後継者のための 講演会及び会社見学会 第1回講演会を開催



岡山県商工会議所青年部連合会、岡山県商工会青年部連合会、岡山県青年中央会で構成する「岡山県経済団体青年部連絡協議会」では、会員を対象に講演会及び会社見学会を開催しています。

去る10月27日(月)、第1

回講演会として、株式会社なんば建築工房の代表取締役社長である正田順也氏を講師にお迎えし、ご講演並びに古民家見学を実施しました。「講演では、「地域課題の解決座談会～まちづくり・空き家・古民家での持続可能な活動へ～」をテーマに、下津井地区における古民家等を活用したまちづくりの取組についてお話しいただきました。講演後は、「テーブル」とに意見交換を行い、地域資源の活用や今後の可能性について活発な議論が交わされました。

また、見学会では、古民家を改装した貸切宿「下津井宿 風待汐待」をはじめ、実際の空き家の古民家や移住者受け入れ施設「古民家お試し住宅」などを視察し、地域と共に歩む企業活動の在り方を学びました。

次回の第2回講演会は、12月9日(火)に開催予定で、嘉美心酒造株式会社の代表取締役社長藤井進彦氏を講師にお迎えし、ご講演いただけます。

(組織支援課 小郷)

全国中小企業青年中央会 2025年度組合青年部

全国講習会 in 若手開催

全国中小企業青年中央会は、去る11月14日、岩手県盛岡市において「組合青年部全国講習会」を開催しました。本講習会は、次代を担う青年経営者・後継者の資質向上を図ることを目的に、毎年実施しているもので、全国各地から組合青年部関係者約240名が集結し、岡山県からは、戸川敬之会長をはじめ5名が参加しました。

講習会は、2部構成で行われ、第1部は「日本経済の現状と、これから金融・経済政策」をテーマに、嘉悦大学ビジネス創造学部教授の高橋洋一氏にご講演いただきました。

続く第2部では、「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」をテーマに、独立行政法人情報処理推進機構(IIPA)セキュリティセンター普及啓発・振興部の白川浩氏よりご講演をいただきました。中小企業もサイバー攻撃の標的や踏み台となり得る実態やI-T-B-C-Pの必要性について改めて考える機会となりました。



講習会終了後には交流懇親会が開催され、元若手の伝統芸能「鬼剣舞」の披露やブロック対抗わんこそば大会、さらには来年度開催される「全国総会 in 茨城」、「全国講習会 in 兵庫」のPRが行われるなど、全国各地の青年部同士の交流を深め、貴重な場となりました。

(組織支援課 小郷)

岡山フードバーセンター

関西商談会開催

去る11月4日、岡山県と岡山県中央会は、県内の食品関連事業者の関西圏における新規取引先獲得のため、関西の百貨店、卸売企業、農産物直売所など幅広い力テゴリーのバイヤーとの商談会を岡山市内にて開催しました。本商談会は、県内企業の販路多角化を目的に令和5年度から実施しており、今年で3年目となります。

わるストーリー性を重視しながら商材を吟味し、中には即日成約に至ったケースや、後日すぐに取引が開始された事例もありました。

また、参加企業については、自社の製品を関西圏に展開していくために必要な具体的な意見をいただける機会にもなりました。

参加した事業者からは「販路開拓に向けた具体的なアドバイスがもらえた」「県外バイヤーとの商談機会を継続的に設けてほしい」など、次回開催を望む声や商談効果を実感する意見が多く寄せられました。

当団は、地元の素材を生かしたスイーツや酒類など、多彩な商品を扱う17事業者が参加しました。昨年を上回る申込みがあり、県内事業者の関心と意欲の高さがうかがえました。会場では、企業担当者が商品の強みや開発の背景、こだわりの製法などを丁寧に説明し、試飲・試食を交えた活発な商談が展開されました。



参加バイヤー

株式会社近鉄百貨店、株式会社
北野クリエーション、株式会社
G7ジャパンカードサービス、
株式会社特産館みまさか

組合クローズアップ

岡山県屋外広告美術協同組合

「サイン&トイズプレイシヨー
IN 岡山」で業界の未来を共有

材が集結。来場者は製品を確認しながら商談や技術確認を行いました。

令和7年11月5日・6日、岡山市北区のコンベックス岡山にて、サイン・ディスプレイ業界関係者を対象とした選手権大会

技能講習も同時に実施。講習は5年に一度の更新が義務付けられており、組合員講師の指導のもと、安全点検や施工要件等について学ぶ機会となりました。

の柱事業として、今後は隔年で定期開催を目指していきます。

出展社は、組合員等の施工業者向けに機材等を販売する専門メーカー・商社が中心で、計74コマのブースに印刷機器やサンプル関連照明など最新の資材・機

A photograph showing a group of approximately ten people gathered around a booth at a trade show or exhibition. The booth has a white counter with various items on it, and a blue sign that reads "FRONT". Several people are standing near the counter, while others are engaged in conversation further back. The background shows more exhibition stands and bright overhead lighting.



岸本直文理事長は「今回、新たに生成AIについてのセミナーを企画した。これから時代にはAI活用が不可欠である一方、中小企業が導入を進めていくためには、事例等の情報が不足している。業界に特化した情報を探求することで、組合の存在価値を高めていきたい」と話されました。

(組織支援課
藤田)

協同組合岡山県卸センター

「超！宴」開催 豊田Street fest 2025

協同組合町田興業センターでは、去る1月2日(日)、「問屋町」において「問屋町 Street fes NOON 超一・宴」を開催しました。このイベントは、問屋町トワズ北側道路を歩行者天国とし、日本文化の「食」をテーマに、「人」と「街」を「食・酒・音楽」でつなぐ」とを口号に実施してきました。

当日は、問屋町内の店舗を中心にはハンバーガーやラーメン、地ビールなど多彩な飲食ブース19店が出店。さらに、地元キッズたちの大人顔負けのダンスパフォーマンスや地域中の学校吹奏楽部によるアンサンブル演奏など、来場者を魅了するステージが繰り広げられました。イベントのクライマックスでは「うらじや総踊り」で会場が一
体となり熱気で包まれたイベント名どおりの「超！宴」となりました。当組合では昨年より、組合青年部が主体となつて委員会



活動を進めており、将来の
まちづくりを見据えた様々な
社会実験を企画していく
す。その一環として開催して
いるのが、「問屋町 Street
fes」だ

あります。企画・運営の中心は青年部員が担っています。

蜂谷大樹青年部会長から「このイベントを通じて、問屋町に関わる企業やテナント、地域住民、そして訪れる方々が『つながる』きっかけになればと思っています。今後も、問屋町がさらに魅力ある街として発展していく様子を、若い力で新しい挑戦を続けていきたいです。」とのコメントをいただきました。



岡山市問屋町に所在する協同組合
岡山県卸センターは、昭和39年に織
維業の事業者を中心とした総合卸団
地として設立されました。現在では
卸売業以外のあらゆる業種の事業者
が店舗を構え、岡山市内の新たな商
業スポットとして注目を集めてお
り、令和5年には組合創立60周年を
迎えています。

組合では引き続きホームページやSNS等による発信を継続していくとともに、問屋町の今後を検討する会議を重ね、組合員やテナント、地域の方々とともに魅力ある街づくりを進めていく意向です。

力や街並みを紹介するページや、60周年記念事業で制作した組合のPR動画を掲載するページを新規に制作しました。4本のPR動画では、問屋町の街並みを春夏秋冬4つのシーズンで撮影することで、季節による異なる魅力を感じてもらいたいという想いが込められています。

動画を掲載するページを新規に制作しました。4本のPR動画では、問屋町の街並みを春夏秋冬4つのシーズンで撮影することで、季節による異なる魅力を感じてもらいたいように

を活用し、組合ホームページのリニューアルを行いました。ページ全体のデザインを一新するとともに、組合の実施するイベントや各店舗の特徴を紹介するページを整備し、問屋町を訪れるきっかけづくりの強化を図っています。また、問屋町の魅力や街並みを紹介するページや、60周年記念事業で制作した組合のPR動画を掲載するページを新規に制作

今年度、同組合では岡山県中央会の実施する組合等DX推進支援事業

業スポットとして注目を集めており、令和5年には組合創立60周年を

岡山市問屋町に所在する協同組合
岡山県卸センターは、昭和39年に織
維業の事業者を中心とした総合卸団
地として設立されました。現在では
卸売業以外のあらゆる業種の事業者
が店舗を構え、岡山市内の新たな商

組合等DX推進支援事業により
ホームページリニューアル

■背景・目的
醤油の製造工程において排出される搾り粕のほとんどは、産業廃棄物として廃棄されているのが実情です。醤油の搾り粕（以下、醤油粕）は埼玉県内において年間約800トン生じており、廃棄物を年々増やしていることは社会としても課題となります。そこで、商業面での利用が難しかった醤油粕を再利用し「燻製チップ化」した新製品を試作・開発しました。組合及び組合員の販路拡大と、廃棄物の廃棄量削減を目的とし、本事業を開始しました。

■取組みの手法と内容
組合内で検討した結果、組合員10社のうち4社が、燻製チップをつくるうえで十分な量の醤油粕を提供できることが分かりました。組合と4社に加え、有識者を迎えた検討チームを発足、その他の組合員も参加のうえで検討していくこととなりました。まずは4社が

原料に燻製チップを業者への委託によ

る「醤油粕の再利用」という共通した

結果として、重さ約30gの燻製チップと重さ約110gの燻製ウッドを醤油粕提供の4社別に完成させました（チップ250個×4社＝計1,000個・ウッド250個×4社＝計1,000個）。検討会で4社それぞれのチップおよびウッドで香り付けした食品を試食してみると、醤油蔵によって風味や香りに個性があることがわかりました。

完成した燻製チップ／ウッドは関係各所へ配付し、使用者のアンケートを集計しました。その後、燻製チップを「スマートピース」と命名し、店舗等で試験的に販売を行いました。

全国先進組合事例

テーマ

販路開拓に取り組んだ事例

醤油粕の新たな可能性

埼玉醤油工業協同組合（埼玉県）



試作した燻製チップ（写真下）と燻製ウッド（写真上）

り製造していました。協議を進めるにつれ、より手軽に燻製づくりが楽しめる燻製ウッド（チップを押し固めたもの）も製造可能であることが分かり、それ相性の良い食品も違うことから、チップ／ウッドの2種類を試作することに決定しました。

結果として、重さ約30gの燻製チップと重さ約110gの燻製ウッドを醤油粕提供の4社別に完成させました（チップ250個×4社＝計1,000個・ウッド250個×4社＝計1,000個）。検討会で4社それぞれのチップおよびウッドで香り付けした食品を試食してみると、醤油蔵によって風味や香りに個性があることがわかりました。

完成した燻製チップ／ウッドは関係各所へ配付し、使用者のアンケートを集計しました。その後、燻製チップを「スマートピース」と命名し、店舗等で試験的に販売を行いました。



醤油粕から燻製チップ／ウッドをつくるうえで、「醤油粕の再利用」という共通の課題があつたことが、各組合員が参画し、本



日本経済新聞など各メディアで取り上げられた

埼玉醤油工業協同組合（埼玉県）

住 所：〒360-0032
埼玉県熊谷市
銀座3丁目91番地3
設 立：昭和25年2月
主な業種：醤油醸造業
組合員数：10人
出 資 金：406千円

情報連絡員レポート

10月分

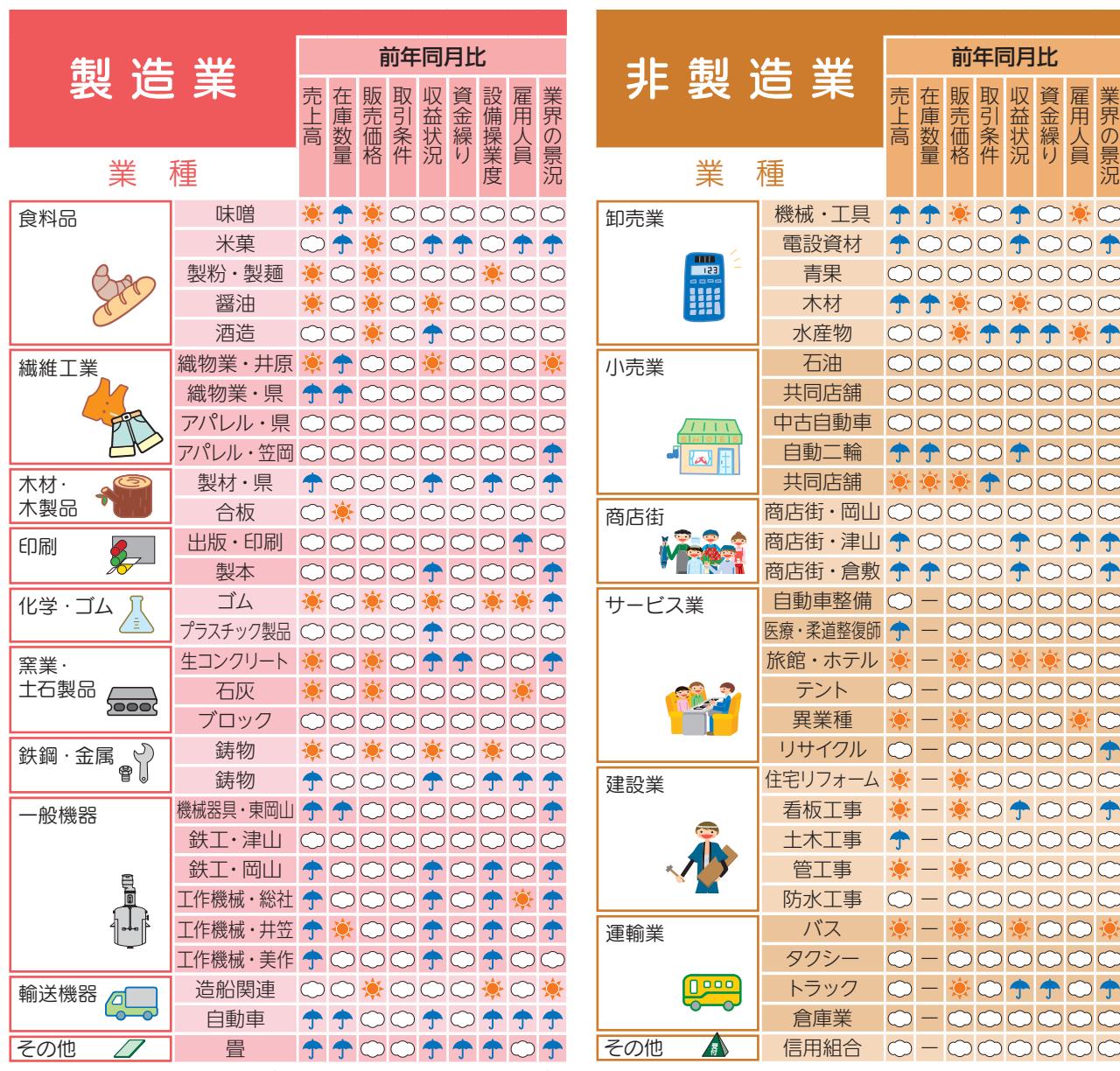
景況DI値

() 内数字は前月の数値です。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全 体	- 5.2 (- 8.6)	- 19.0 (- 16.7)	36.2 (31.0)	- 3.4 (- 3.4)	- 24.1 (- 25.9)	- 6.9 (- 8.6)	- 13.8 (- 20.7)	1.7 (0.0)	- 29.3 (- 27.6)
製 造 業	- 6.9 (- 20.7)	- 17.2 (- 13.8)	34.5 (37.9)	0.0 (- 3.4)	- 31.0 (- 41.4)	- 10.3 (- 13.8)	- 13.8 (- 20.7)	- 3.4 (- 6.9)	- 37.9 (- 34.5)
非製造業	- 3.4 (3.4)	- 23.1 (- 23.1)	37.9 (24.1)	- 6.9 (- 3.4)	- 17.2 (- 10.3)	- 3.4 (- 3.4)		6.9 (6.9)	- 20.7 (- 20.7)

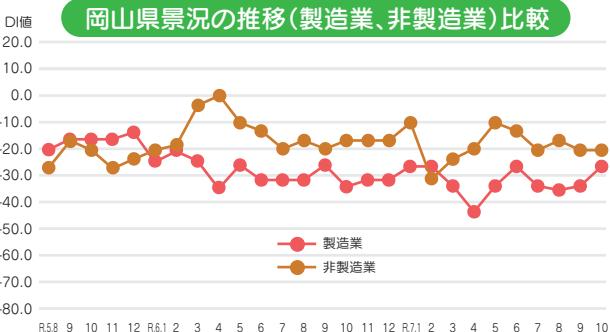
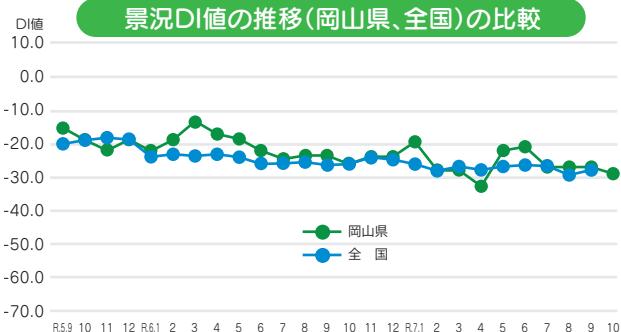
(注) DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

岡山県業界天気図



業界の景況感(前年同月比) 晴 3 云 35 雨 20

△ 増加・上昇・好転 □ 変らず ▲ 減少・下落・悪化



製造業

2025年10月分のコメント

食料品

●暑さも落ち着き需要期に入るが、動きは弱い。米菓に限らず菓子は嗜好品なので値上げが続くと手が出にくくなっている。米菓組合ブロック会を開催、議題は今年のもち米価格、供給量。来年度以降の作付け。夏の暑さ対策など活発な意見交換があった。

《米菓》

●原料米が昨年から高騰が続いている。この影響から、商品価格の見直し、値上げを検討している組合員が多数いる。取引条件等の関係から苦慮している等の情報がある。

《酒造》

繊維工業

●先月から引き続き国内外とも受注はセルビッチデニムを中心に好調である。円安もプラスに働いている。ただ、現場技術者の人手不足もあり、思うように生産を増やせないというマイナス面も抱えており、労働力確保が喫緊の課題である。

《織物業・井原》

木材・木製品

●あらゆる住宅関連商品の値上げの中で、新設住宅着工戸数は減少傾向にある。

《製材・県》

化学・ゴム

●売上はほぼ計画通り。現時点ではトランプ関税の大きな影響は出ていないが、引き続き状況を注視。ネクスペリアの半導体の影響は現時点ではほとんどないものの、今後影響が出る可能性あり。労務費の価格転嫁については難航しているがほぼ決着。新下請法への対応についてはほぼ完了。2026年1月以降の資金繰りに影響あり。

《ゴム》

窯業・土石製品

●出荷量について、10月の岡山県全体の出荷量は70千m³で、対前年比112%であった。支部別で見ると、岡山県全体の6割を占める県南支部の出荷量が対前年比130%と好調を維持している。2024年問題に起因するIC周辺での物流倉庫の建設など、民需が下支えしているものと思われる。一方、官公需に依存する県北部の出荷量は40%~85%と、前年から大きく減少している。9月27日に、全国の土木系高等学校や高等専門学校を対象にコンクリートの圧縮強度やデザイン、プレゼンテーションの内容を競う「コンクリート甲子園」の第18大会予選が開催された。全国から64校の参加があり、岡山県からは5校が出場した。予選に参加した64校のうちの10校が本選出場となり、岡山県からは笠岡工業高校が見事予選を突破し、本選出場を果たした(中国地方で唯一)。本選は12月6日、千葉県船橋市の全生連中央技術研究所で開催される。当組合では、技術的サポートを行う体制を整備し、協力要請のあった高校に対しては、近隣の生コン工場が全面的に技術協力を行った。こうした取り組みを通じて、業界の知名度向上やイメージアップに繋がることを期待している。

《生コン》

鉄鋼・金属

●倒産した組合員の代替需要で、他組合員の受注が増加した。

《鋳物》

一般機器

●引合い、受注とも減少傾向が続いているが、回復の兆しが見えない。廃業を考えている組合員も現れている。《鉄工・岡山》

●大部分の組合員において前年売上実績を下回っている。年末に向けてのスポット的な受注はあるものの、上向き傾向とまでは言えない。

《工作機械・総社》

●数ヶ月前から受注減が続いているが、年度後半は少しずつ受注増の見通し。

《工作機械・井笠》

その他

●不景気対策が無い限り受注の拡大は難しい。年末需要に向けて活性化できるのか不安。

《畠》

非製造業

2025年10月分のコメント

卸売業

- 前月までと同様の推移で、大きな変化はなし。 《水産物》
- 国内メーカーによる50cc原動機付自転車(原付一種)については、強化される排出ガス規制への対応が困難なため実質的に生産が終了し、新基準の車種が発売されるまでは売上・客数ともに減少している。全体的に動くが悪く、中古車市場は高止まりが続いている。 《自動二輪》

小売業

- 全体では売上5%強、客数も2%強の伸びを示し好調な月となった。ベーカリー、ゲームセンターは2桁の伸びを示した。既存店15店舗中、9店舗が前年をクリアした。食品も売上、客数ともに前年をクリアした。9月に仏壇仏具店が新規出店したこと、空き店舗解消に付け加えて賑わいを出しているので、今後が楽しみである。 《共同店舗》

商店街

- 先月同様来街者数に大きな変化は見られず、また諸物価値上げの影響なのか購買意欲が上がらず売り上げ的にはまだまだ厳しい状況である。 《商店街・岡山》
- 平日・土日と関係なく人通りがまばら。 《商店街・津山》
- 購買客は外国人観光客の比率が高く、外国人観光客が来ない店舗は苦しい。 《商店街・倉敷》

サービス業

- 前年比と比較した場合、組合員数の減少が著明のため、件数及び金額の減少がみられる。原因としては高齢による脱退であり、本組合の高齢化が進んでいる。また8月の施術は休日等により就労日数が少なく全体に減少がみられる。組合員の増加を検討し、その対策を協議し始めたところである。未だ経営実態は厳しく、先が見通せない状況であるが、改善に努めている。 《医療・柔道整復師》
- 前年実績よりは良かったが一昨年と比べると売り上げは減少した。 《旅館・ホテル》
- 建設業組合員のインドネシアでの採用に向け、新規に送り出し機関と契約、11月には面接実施予定。機械加工組合員の技能実習生・特定技能のインド人受入れは現在9名、追加4名の面接を11月に実施、採用決定。農業組合員からの特定技能の求人は、ベトナムでの採用を断念、インドネシア送り出し機関に求人継続中であるが、応募は依然厳しい状況。介護サービス組合員については、服薬指導を含めた人材として、インドネシアでの採用で決定、11月での面接に向けて調整中。 《異業種》
- 鉄、非鉄スクラップについては、販売価格は微増、依然発生は少ない。古紙については、扱い量の減少から規模縮小や廃業も増えてきている。 《リサイクル》

建設業

- 忙しいときと暇な時がうまくかみ合わない。忙しいときは本当に猫の手も借りたいくらいだが、暇となるととことん暇で、同業者同士で情報共有している。 《防水工事》

運輸業

- 観光バスの集客人員は前年同月比1002%の増加となった。瀬戸芸や万博開催の影響でインバウンドにより旺盛な観光需要に支えられ継続して安定した伸びをみせた。高速バスは前年同月比102%の増加となった。秋シーズンの移動需要の影響で前年増加で推移している。 《バス》
- 業種による荷動きは良くない。人手不足は深刻であり、新政権下での「働き方改革」の改革に期待する。《トラック》
- 前月同様の推移で下期の開始月となったが、不安定な市況の動向に影響され、流通量は低調な状況が続いた。クリスマス、年末商戦に向けた荷動き回復伸長に期待したい。 《倉庫業》

その他

- 事業者支援については、11月12日(水)開催の「しんくみビジネスマッチング」にて販路開拓支援を行う。約300商談の予約があり、露店も含め計206社参加する。資金繰り支援については、かさしん地方創成ローンを追加募集して支援を図っていく。 《信用組合》

11月15日(土)、16日(日)に宇野港で開催された「Setouchi Contemporary 2025」に行ってきました。このイベントは音楽フェスエリアと、県内外の飲食店やアパレルが並ぶマーケットエリアから構成される複合型イベントで、今年が初の開催とのことです。

音楽は聴くのも歌うのも好きですが、夏フェスは気温が高く、熱中症寸前になっていたため、こういった涼しい時期に開催されるフェスはとてもありがたく感じました。また、アーティストの方々口を揃えておられましたが、玉野の海を背景にしたライブは最高のロケーションでした。こういったフェスでは普段聴かないアーティストに出会える醍醐味があり、今回もたくさん収穫がありました。

また、一方でフードエリアも岡山県の名だたる人気店が立ち並び、胃袋と相談しつつも胃袋の意見は無視して、様々なご飯を楽しみました。多すぎて見づらくなっている私のGoogle MAPに行きたい店リストはさらに増え、年末の忘年会シーズンに向けてまた楽しみが増えました。もし来年も開催されるようでしたら、皆様も是非足を運んでみられてはいかがでしょうか。



2025年度

職員紹介

イノベーション推進課

池田 幸奈



**モコヒ自分引
働き方
休み方**

Refresh!
働き方
休み方

年次有給休暇を上手に活用し働き方・休み方を見直しましょう

●「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
●年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。

厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署

年末年始は
年休とつて
ほっとひとやすみ

selection

ボクはしんぢんち
たじまうじ平

平成31年2月号掲載
上座下座にもいろいろあるようです。



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に **特定退職金共済制度**

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 **団体扱生命保険**

団体扱*(月払)の場合、
一般扱(口座振替扱月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン
経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン
役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに **業務災害補償保険**

事業活動にかかる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社

業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2023-432 (損保)A-2023-112 (2023.9)
R-2023-1009 (2023.9)